

オープンキャンパスキッズの実施



この事例のポイント

- ・小学生が大学教育に触れる機会の提供
- ・大学生との関わりや遊びの機会を通じた学びや仕事への関心と理解

この取組を行った背景や目的

小学生が大学に訪れ学生と触れることを通じ、大学を身近に感じ、大学の中での教育に触れる機会を提供することで、本学を地域に開かれた身近な大学として受け入れられ、教育活動や将来にわたっての入学者選抜等の改善に繋げることを目的としています。

実施した内容 「オープンキャンパスキッズ2024」の実施

対象：小学生（そのご家族）

方法：近隣の小学校に通う児童とそのご家族に來学いただき学生や教職員が大学の学びへとつながるよう企画した催しものに参加し、大学の魅力を体感してもらいました。（2024年9月 実施）

内容：当日は約100名が参加しました。坐禅や車いす、救急救命体験コーナーのほか学内トレイルラン、ダンス教室、水風船投げ、ジャグリング、ボードゲーム、紙皿フリスビー制作など、参加型のイベントに親子が一緒になって体験してもらいました。参加した子どもからは、また、来年もぜひ参加したいとの声が寄せられました。



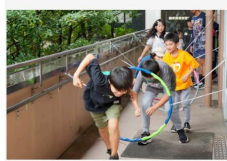
坐禅体験



車いす体験



救急救命体験



学内トレイルラン



ダンス教室



水風船投げ



水風船投げ



ジャグリング体験



紙皿フリスビー制作

実践するためのヒント

○実施体制について

各部門との協力体制や連携が重要

⇒企画を運営するにあたり、学内組織における各部門との連携した協力体制は安全性や安定性確保の観点において重要です。学内全体での協力として、特に広報や教務、学生支援等との連携がなしには実施は出来ませんでした。

○今後の取り組みの方向性

継続的な開催に向けて、関係機関や地域社会との協力連携を図ることに加え、より子どもが興味を持つ企画の検討や参加者増加に向けた広い周知を進めていきます。